

第2学年国語科学習指導案

日時 平成16年11月19日(金)
児童 男8名 女2名 計10名
指導者 講師 山口 修平

1 単元名
ようすを考えて読もう

2 教材名
「お手紙」 アーノルド＝ローベル作・絵 みき たく 訳

3 教材について

第1学年及び第2学年の「読むこと」に関する指導目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む能力」を育てることである。そのため、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら読んだり、場面の様子などについて、想像を広げながら読むことができるようにすることが大切である。

本教材は、登場人物のかえるくんとがまくんの二人の会話を中心として、そして、手紙を届けるかたつむりくんの三人の会話で展開されている物語である。登場人物の気持ちの移り変わりや心のふれあいを捉えることをねらいとしている。教材文には、ほのぼのした挿絵が多く使われており、人物の気持ちを想像させるのに効果的である。かえるくんとがまくんの役割読みを取り入れたり、場面毎の挿絵を効果的に用い、場面や気持ちの移り変わりについて話し合わせたりしながら、児童が登場人物と一体化したり、身近な友達ととらえたりすることができる。そうすることでお手紙を待っている二人の気持ちを想像豊かに読み取れる教材である。

4 児童の実態について

児童は、明るく活発で、話好きな子が多く、意欲的に学習に取り組んでいる。

国語の学習では、児童は、第四単元「スイミー」で、場面の様子を読み取ったり、人物になりきって気持ちを想像する活動をしてきた。また、第六単元「サンゴの海の生きものたち」では、叙述に即して内容の大体を読み取り、生き物たちの関わり合いについて興味をもって考えることができた。

児童は、音読には大変意欲的であり、教室では大きな声で音読している。また、家庭でも音読に毎日取り組んでいる。ほとんどの子が大きな声ではっきり読めるようにはなってきたが、様子や気持ちをよく理解するように読むことはまだ不十分である。

話好きの子が多い反面、自分の考えを順序よく発表することに対しては、苦手意識をもつ子が多い。しかし、一旦文字に書いて発表することを整理すれば、うまく発表することができる。また、書くことには、熱心に取り組んでいる。

5 指導にあたって

指導にあたっては、まず、教材中の会話文に着目させたい。会話文を色分けして、誰の会話を明確にさせる。このことによって、物語の流れを把握することが容易になると思われる。

「選択」させる発問で、誰が誰に言った会話をかえり、場面の移り変わりなど物語の展開をしっかりと把握させたい。

また、「統合」させる発問により、登場人物が何故その行動をしたのかを考えさせる。それによって、登場人物が行動する理由を知ることができ、行動の内にある思いを考えさせることができる。

さらに、「類推」させる発問により、会話文の言い方を考えさせる。そのことによって、人物がどんな気持ちでその言葉を言ったのかを深く理解させることができる。と考える。

児童にとって、かえるくんやがまくん、かえるくんは、どこにでもいそうな人物として親しみがもてる。気持ちのよく表れている会話文を視写したり、気持ちを想像して吹き出しに書いたり、人物への呼びかけのことばを考えたりすることによってより深く読ませたい。

学習活動では、誰が言った言葉かを色鉛筆を使って整理させる。そして、言葉の一つ一つの会話をどのように読むか考えさせて読むことにより、登場人物の気持ちを考えることができるようにし、気持ちの移り変わりを理解させるようにしたい。その際、黒板に場面毎の挿絵を貼ることにより、物語へスムーズに感情移入できるようにしたい。他に、ペーパーサートを使って登場人物の会話を語らせる。このことにより、教科書を音読するよりも抵抗感なく読み方に工夫を加えることができる。最後にはそのペーパーサートを使いペーパーサート劇を行う。そのことにより今まで学んだ読み方の工夫を活かすことができる。

こうして学習した人物の気持ちの移り変わりや心のふれあいが、読み方に表れるように、工夫して音読させたい。

6 指導目標

場面の様子を考えながら読み、ペーパーサート劇をしてお話を楽しむ。

〔国語への関心・意欲・態度〕

・ペーパーサートを使い、動きを加えながら読み、お話を楽しむ。

〔読むこと〕

・場面の様子やがまくん、かえるくんの心情について、想像を広げながら読む。

〔書くこと〕

・登場人物になりきって気持ちを吹き出しに書いたり、人物にあてて手紙を書いたりする。

〔言語事項〕

・第一学年に担当された漢字を書いたり、漢字の複数の読み方に気を付けたりする。

単元の評価規準

〔国語への関心・意欲・態度〕

・ペーパーサートを使い、動きを加えながら読み、お話を楽しんでいる。

〔読む能力〕

・場面の様子やがまくん、かえるくんの心情について、想像を広げながら読んでいる。

〔書く能力〕

・登場人物になりきって気持ちを吹き出しに書いたり、人物にあてて手紙を書いたりしている。

〔言語についての知識・理解・技能〕

・第一学年に担当された漢字を書いたり、漢字の複数の読み方に気を付けたりしている。

7 指導計画と評価規準 (14時間)

段階	学習活動	評価規準	時間
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読し、感想を持つ。 全文を通読し、あらすじをつかむ。 感想を書く。 場面分けをして感想をもとに学習のめあてをつかむ。 	[国語への関心・意欲・態度] ・作品に興味を持って読んでいる。 [書く能力] ・あらすじをつかんで、簡単な感想を書いている。	1
よみとる	第1場面 ・かえるくんとがまくん気持ちを読みとる。 がまくんはなぜかなしいのだろう。	[読む能力] ・がまくんの悲しみを読みとっている。	1
	第2場面 ・かえるくんの張り切りとかたつむりくんのようすを読みとることができる。 お手紙を書くかえるくんの気持ちを読みとろう。	[読む能力] ・かえるくんの張り切りと、かたつむりくんのユーモラスな様子を読みとっている。	1
	第3場面 ・がまくんの言葉の言い方の違いを読みとる。 がまくんの会話の読み方を考えよう。	[読む能力] ・がまくんの言葉の読み方の違いを読みとっている。	1
	第4場面 ・二人が幸せな気もちになった理由を読みとる。 お手紙をまつ二人の気もちは、どうしてとてもしあわせなのかを読みとろう。	[読む能力] ・二人が幸せな気もちになった理由を読みとっている。 ・がまくんがかえるくんに対して思っていることを読みとっている。	1 本時
	第5場面 ・二人の様子を考えて地の文を読む。 二人の幸せな様子を読もう。	[読む能力] ・二人の幸せな様子を書いた地の文を、工夫をして読んでいる。	1
かんがえる	登場人物になりきって、登場人物にお手紙を書く。 どう場人物になりきって、お手紙に出てくる人へ、お手紙を書こう	[書く能力] ・登場人物になりきって、登場人物にお手紙を書いている。 [言語についての知識・理解・技能] ・第一学年に配当された漢字を書いたり、漢字に複数の読み方に気を付けたりしている	
	ペープサート劇の準備、発表を行う。	[国語への関心・意欲・態度] ・場面の様子を考えながら読み、ペープサート劇をしてお話を楽しんでいる。	3
	発表会でよかったところをお手紙に書く。	[書く能力] ・発表会での友達の良かったところを手紙に書いている。	2
いかす	他の作品を読む。 ことばの学習をする	[国語への関心・意欲・態度] ・『お手紙』と比べながら、お話の楽しさを味わっている。 [言語についての知識・理解・技能] ・「毎」のつかいかたがわかっている。	2

8 本時の指導

(1) 目標

二人が幸せな気持ちになった理由を読みとる。

(2) 展開

段階	学習活動及び学習場面	主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点	評価
つかむ 5分	1 前時までの学習場面を確認する。 2 学習課題を確認する。 3 学習範囲を音読する。第4場面(P12L6～P15L3)	<ul style="list-style-type: none"> かえるくんは前の場面では、窓から顔をのぞかせていました。がまくんはどうしていましたか。 どんな気持ちでがまくんはベッドにねていたのですか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> お手紙をまつ二人の気持ちは、どうしてとてもしあわせなのかを読みとろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> かえるくんがどんな気持ちで手紙を待っているのかに気を付けて読みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッドにねていた。 落ち込んでいた。 元気がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> かえるくんが外を見ている絵を貼る。 お手紙を待つかえるくんの気持ちに気を付けるように読みの視点を与える。 	
ふかめる 32分	4 読み深める。	<ul style="list-style-type: none"> かえるくんはどうして、窓の外を見ていますか。(選択) どの言葉からそのことがわかりますか。(選択) がまくんは今どこにいますか。 どのくらいの時間窓の外を見ていましたか。(選択) 「きっと来るよ。」のきっとはどんな意味かな。(統合) どうしてかえるくんはがまくんにお手紙を出したことを話してしまったのかな。(類推) その後がまくんは何と言っていますか。(選択) がまくんは寝たまま「きみが。」と言ったのかな。(類推) お手紙にはどんなことが書いてありましたか。(選択) 	<ul style="list-style-type: none"> 手紙を待っているから かたつむりくんを待っているから 「だって、今、ぼく、お手紙を待っているんだもの。」からです。 ベッドです。 ずっとです。 ぜったい かならず がまくんを元気付けようとしたから 落ち込んでいるがまくんに我慢できなかったから 「きみが。」 ちがう ベッドから跳ね起きた 『親愛なるがまがえるくん。...』 	<ul style="list-style-type: none"> ずっとという表現ががまくんへの手紙を期待していることを押さえる。 きっとという言葉に込められたかえるくんの思いを押さえる 驚いた様子を押さえる。 それまで寝ていたこと板書でよく確認してから発問を出す。 	

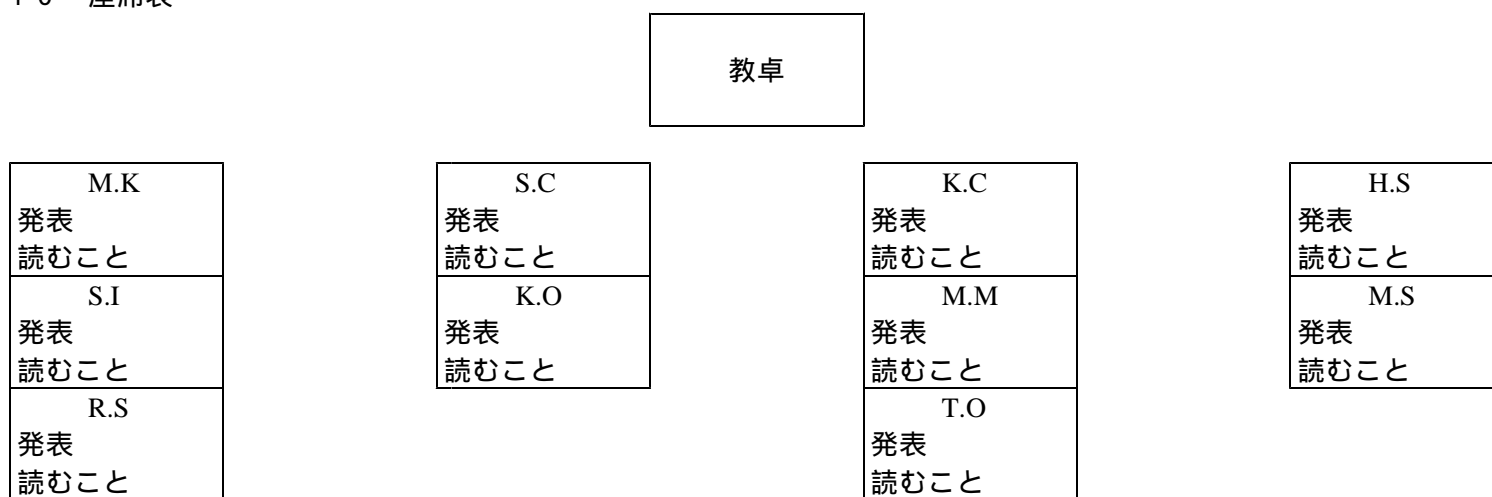
	<ul style="list-style-type: none"> ・がまくんはお手紙の中身を聞いた後、何と言いましたか。(選択) ・がまくんはどうして「ああ。」といたのでしょうか。(類推) ・以前に「ああ。」と言った場所があります。探してみよう。(選択) ・二つの「ああ。」は同じ言い方かな。(統合) ・どうしていいお手紙なのでしょう。このお手紙の中で大事なところにサイドラインを引きましょう。(選択) ・親愛なるってどんな意味かな。(類推) ・親友ってどういう意味かな。(類推) ・親友って呼ばれたらがまくんはどんな気持ちになったかな。 ・かえるくんはがまくんを親友と思っているけど、がまくんはかえるくんをどう思っていますか。(類推) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ああ。」 ・「とてもいいお手紙だ。」 ・感動したから ・とてもいいお手紙だったから ・P5L11「ああ。一ども。」 ・違う ・「親愛なる。」 ・「親友。」 ・大好きな。 ・仲の良い。 ・仲の良い友達 ・大好きな友だち ・うれしい ・幸せだ ・親友 	<ul style="list-style-type: none"> ・何回か音読をし、がまくんがとても感動してることを押さえる。 ・予想される反応が出ない場合は教師側から言う。 	<p>〔指導を要する 児童への手立て〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵などを使ってお互いどう思っているのかを考えさせる。 <p>〔評価規準〕</p> <p>がまくんがかえるくんに対して思っていることを読みとっている。</p> <p>〔具体的評価規準〕</p> <p>A：がまくんはかえるくんを親友と思っていることを読みとっている。</p> <p>B：がまくんはかえるくんの良い感情を持っていることを読みとっている。</p> <p>(発表)</p>
<p>5 ワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんとがまくんの気持ちを吹き出しに書いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親友だと思ってくれてありがとう。僕も親友だと思っているよ。 ・いいお手紙をありがとう。君は親友だ。 ・こんなに喜んでもらえるなんてうれしいな。親友が元気を出してよかったよ。 ・こんなに喜んでもらえるなんて、やはり君は親友だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二人の思いが一緒のことを確認する。 〔指導を要する 児童への手立て〕 ・挿絵を使って想像を膨らませ、二人がどんな気持ちなのかを感じとらせる。 	<p>〔評価規準〕</p> <p>二人が幸せな気持ちになった理由を読みとっている。</p> <p>〔具体的評価規準〕</p> <p>A：二人が互いに親友であると心が通じたことを、自分の言葉で書</p>

				いている。 B：二人がと ても幸せな気 持ちになった わけが書いて いる。 (ワークシート)
ま と め る	6 ワークシ ートでまとめる	まとめ がまくんとかえるくんは、互い に親友だと思ったから、とても幸 せな気持ちになった。		・黒板にまとめ る。
8分	7 次時の学習 を確認をする	・次の時間はお手紙を受け取るふた りの様子を読みとります。		

9 板書計画

<p>まとめ がまくんとかえるくんは、たがいに親 友だと思ったから、とてもしあわせな気 もちになった。</p>	<p>絵</p> <p>親愛 親友</p> <p>「ああ。」 「とてもいいお手紙だ。」</p>	<p>絵</p> <p>親愛なるがまくん。 ぼくは、きみがぼくの親友で あることを、うれしく思っ ています。きみの親友、かえる。</p>	<p>絵</p> <p>ずっと きつと きみが</p>	<p>めあて お手紙をまつ二人の気持ちは、どうし てとてもしあわせなのかを読みとろう。</p>	<p>お手紙 かえるくん まどからのぞいている。 がまくん ベッドでねている。</p>
---	---	--	-------------------------------------	---	---

10 座席表



〔発表〕

意欲的に自分の考えを発表する。
自信があることは進んで発表する。

〔読むこと〕

書かれていることを正しく読むことができる。
書かれていることを概ね読むことができる。